

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 佐藤 公俊	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 (1) 教育活動 ①2、3年生のゼミナール活動に関して、地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」に3年生3チームと2年生2にチームの計5チームが出場した。結果として「高経大生の防災意識」を発表した2年生チームが2位となった。 ②3年生のゼミナール活動に関して、オンラインで開催された「第62回日本学生経済ゼミナール関東部会（インナー大会）プレゼンテーション部門」に3チームが出場した。 ・今年度のゼミ活動を総括すると、課外活動が十分にはできなかった憾みは残るものの、ゼミ活動の内容は例年通り充実したものであったと考える。地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」において2年生が2位となったことは大いに意義あることであった。 (2) 研究活動 【公表論文等】 ・2024年8月に出版予定である『名著で学ぶ政治学』（一藝社）に関して、以下の通り執筆した。 ○グレアム・アリソン『決定の本質』 ○マンサー・オルソン『集合行為論』 ○フリードリヒ・フォン・ハイエク『隷従への道』 【科学研究費助成事業（基盤研究（B））の研究分担者】 ・課題番号：22H00927（2022-2026年度） ・研究課題名：「日本的ケアシステムに関する基礎的研究―緩和ケアにおける意思決定過程を中心に―」 ○日本的ケアシステムの事実解明的モデルを構築することを目指して、がん専門看護師6人に1時間ずつインタビュー調査を行った。 【学会活動等】 ①日本地域政策学会理事として運営に関った（2010年7月～現在）。 ②日本地域政策学会政治行政部会に参加した。 (3) 学内行政 ・公立大学法人高崎経済大学理事として職務を執り行った。 ・副学長（教育担当）として職務を執り行った。2023年度において特に重要だったのは以下の事項である。 ○DX・IR検討プロジェクトリーダーとして、プロジェクトにおいて2021年度から検討してきたLMSの導入に関して、2024年度から「WebClass」を導入することを取りまとめた。	

○2025 年度に更新する大学運営事務システムの構築業者を選定するために設置された「高崎経済大学「大学事務運営システム」構築業務委託業者選定委員会」委員長として、業者の選定を取りまとめた。

○2024 年度からより充実した教育を目指して英語授業の一部を外部委託することとなった。それに伴い設置された「高崎経済大学英語授業実施業務の委託業者選定に係る総合評価審査会」会長として、業者の選定を取りまとめた。

(4) 社会貢献

①群馬県関係

・群馬コンベンションセンター指定管理者評価委員会委員をつとめた(2020 年度より継続)。

②安中市関係

- ・安中市総合政策審議会委員として活動した(2022 年度より継続)。
- ・公立碓氷病院あり方検討委員会委員(副委員長)として活動した(2015 年度より 2023 年 5 月まで)。
- ・公立碓氷病院経営強化検討員会委員(副委員長)として活動した(2023 年度より継続)。2023 年度は「公立碓氷病院経営強化プラン(令和 6 年度～令和 9 年度)」を取りまとめた。
- ・安中市水道事業及び下水道事業審議会委員(会長)として活動した(2023 年度より継続)。2023 年度は「安中市下水道事業経営戦略(令和 6(2024) 年度～令和(2053) 35 年度)」を取りまとめた。

③川口市関係

・行政評価外部評価委員会委員(副委員長・第二部会長)として委員会および部会の会議を主宰した。また、川口市企画財政部行政経営推進室の業務に対する助言等を行った(2010 年度より継続)。

2 その他の事項

【メディア等】

- ・上毛新聞(2023 年 4 月 10 日): 4 月 9 日に行われた県議会選挙についてコメントをした。
- ・朝日新聞(2023 年 7 月 4 日): 群馬県の「官民共創」の取り組みについて「庁内の人材育成 今後の課題に」という見出しでコメントをした。

3 次年度以降の計画・抱負